

第9回
自治体国際交流表彰
(総務大臣賞)

受賞団体事例紹介

平成 27 年 6 月 16 日
総 務 省
一般財団法人自治体国際化協会

自治体国際交流表彰の概要

1 事業の目的

本表彰事業は、日本の自治体と海外の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動（以下、「自治体国際交流」という。）のうち、創意と工夫に富み、地域の振興に資するような取り組みを行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって、地域の国際化に資することを目的に、平成 18 年度から毎年度実施しております。第 7 回表彰より名称を「姉妹自治体交流表彰」から「自治体国際交流表彰」と変更し、姉妹自治体交流だけでなく、特定分野の交流などについても広く募集の対象といたしました。

2 主催

総務省、一般財団法人自治体国際化協会

3 表彰対象

先進性、独自性、継続性、活発性、協働性・連携性、及び効果等の面から優れた自治体国際交流を行っている都道府県、政令指定都市、その他の市区町村、及び地域国際化協会・国際交流協会等の民間非営利団体を対象とします。

4 賞の内容

総務大臣賞 3 団体以内

審査委員会奨励賞

5 応募・審査

応募のあった団体、及び都道府県・政令指定都市から推薦のあった団体について、別途設置している「自治体国際交流表彰審査委員会」（委員長：中邨章 明治大学政治経済学部名誉教授）における審査を経て、総務省及び一般財団法人自治体国際化協会が受賞団体を決定します。

第 9 回表彰事業では、27 団体から応募があり、厳正な審査の結果、以下の 4 団体に決定しました。

【総務大臣賞】

旭川市（北海道）、刈谷市（愛知県）、四日市市（三重県）

【審査委員会奨励賞】

豊根村・サウジアラビア王国交流促進委員会（愛知県）

6 その他

次回第 10 回の表彰は、平成 27 年 7 月以降に各自治体（国際交流担当課）を通じて募集する予定です。詳細は、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

一般財団法人自治体国際化協会 交流支援部交流親善課

住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1 丁目 7 番 相互半蔵門ビル 6 階

電話：03-5213-1723 FAX：03-5213-1742 E-mail:shimai@clair.or.jp

URL：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html

総務大臣賞

旭川市(北海道)

提携先:水原市
(大韓民国)

提携年月日:1989年10月17日



姉妹都市交流事業

地域の概要

旭川市

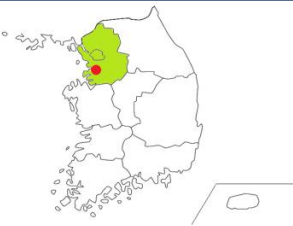


◇人口:345,917人(H27.4.1)

◇面積:747.66km²

◇概要:北海道のほぼ中央に位置し、道北地域の経済、産業、文化の中心地です。大雪山連峰を源とする石狩川をはじめ多くの川が流れる「川のまち」で、農業や家具等のものづくりの産業が盛んです。国内外で有名な旭山動物園などの観光資源や四季折々の豊かな自然に恵まれ「人と文化がひびきあうまち」として発展しています。

水原市



◇人口:1,212,917人(H27.4.30)

◇面積:121.01km²

◇概要:韓国北西部、首都ソウルの南44kmに位置する水原市は京畿道の道庁が置かれている拠点都市です。市内にはユネスコ世界文化遺産の水原華城に代表される歴史的遺構が数多く残っていると同時に半導体や電子製品の製造が盛んであり、歴史と未来が共存するまちとして発展を続けています。

交流事業の概要

- 1983年に韓国との友好親善交流を図ることを目的に、旭川日韓友好親善協会が設立され、水原市の韓日親善協会水原市協会と交流を深める中で両市の姉妹都市提携の気運が盛り上がり、1989年に旭川市と水原市は姉妹都市を提携しました。
- 以後、代表団や両市職員の相互派遣をはじめ、スポーツ、文化、経済、青少年、福祉、食文化紹介等の様々な分野で活発な交流を行ってきました。
- 両市の交流の特徴は、裾野が広い市民交流であり、両市の親善協会同士の交流はもとより、サッカー、ボーイスカウト、写真、手工芸、少年野球等の団体は、主体的に相互訪問による交流事業を実施し、友好の絆を深めてきました。
- また、両市商工会議所や社会福祉協議会、高校や大学同士が交流協定に基づき、事業を展開しながら、お互いに良い点を学び合いながら、経済、福祉、教育の分野での発展をめざしています。
- 2014年に両市は姉妹都市提携25周年を迎え、代表団(7月)と市民訪問団(10月)が合わせて延べ120名の市民が水原市を訪問し、記念モニュメントの除幕式や水原市最大の祭典である水原華城(スウォンファソン)文化祭で、旭川の観光や食の魅力を紹介することができました。

評価のポイント

- ⇒ 姉妹都市提携以来、25年に亘り、行政と民間が密接に連携しながら、広範囲で活発な交流が展開されており、友好の構築を実現してきた顕著な事例である。
- ⇒ 自治体同士の人的交流が長期に亘って展開されており、相互の信頼関係の構築に大きく貢献している。
- ⇒ 向後、商工会議所や教育機関を巻き込んで、経済分野や福祉分野へ市民交流の輪が広がる予定であり、発展的国際交流の好事例と言える。
- ⇒ 両国の自治体による草の根の交流は、殊のほか重要であり、当該諸交流に関与する多くの市民が、それぞれの分野で相互理解に向けた役割を確実に果たしている。



①記念モニュメント
姉妹都市提携25周年を記念し旭川市の風景を描いた記念モニュメントを寄贈(2014年)



②旭川紹介
水原市最大の祭典に旭川紹介ブースを設置して観光等の魅力をPR(2014年)



③正祖大王パレード
サッカー交流の高校生をエキストラにして、水原華城を築いた正祖大王パレードを旭川で再現(2009年)



④青少年交流事業
両市高校生相互派遣の受入事業で両市高校生約50名が参加して茶話会を開催(2013年)



⑤サッカー交流
平成2年から水原市蹴球協会との間で親善試合やホームステイで交流を深めている(2013年)



⑥ボーイスカウト交流
平成4年から交流を開始し友情を深めながら国際感覚の涵養に成果を得ている(2013年)

【問い合わせ先】

旭川市総合政策部都市交流課

住所：〒070-0031 北海道旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

電話：0166-25-7491 FAX：0166-23-4924

E-mail：toshikoryu@city.asahikawa.hokkaido.jp

URL：http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/

総務大臣賞

刈谷市(愛知県)

提携先:ミササガ市
(カナダ・オンタリオ州)
提携年月日:1981年7月7日



友好都市交流事業

地域の概要

刈谷市



◇人口 148,419人 (H27.4.1)
◇面積 50.39k m²
◇概要 愛知県のほぼ中央に位置し、(株)豊田自動織機など自動車関連企業が多く集まる工業都市である一方、国の天然記念物に指定されたカキツバタ群落など美しい自然環境が守られていることが特徴です。産業と文化が調和したものづくりのまちとして「人が輝く安心快適な産業文化都市」の実現を目指しています。

ミササガ市



◇人口 713,443人
◇面積 287.5k m²
◇概要 カナダ東部の五大湖の一つオンタリオ湖の湖畔にあり、カナダで6番目に大きい都市です。市内にはレスター・B・ピアソン空港(トロント空港)があり、カナダの表玄関として、また、カナダ最大の都市トロント市の近郊都市として、日系企業も多く進出し、急速に発展しています。

交流事業の概要

- 1983年に刈谷市国際友好協会(現在の刈谷市国際交流協会)、1993年にミササガ市友好協会が設立されて相互の交流の窓口となっています。また、刈谷市では1988年に企業からの寄付をきっかけに国際交流振興基金を設立し、事業原資の一部としています。
- 刈谷市からは姉妹都市提携以来毎年市民団を派遣しており、派遣市民のOB・OGで構成された「ミササガ派遣市民の会」が刈谷市で生まれ、交流事業において多くの協力をいただいています。
- 愛知万博において、刈谷市とカナダがフレンドシップ相手国であったことを契機にカナダの庶民スポーツであるストリートホッケーの交流会や来日したホッケー団による小学校訪問が始まりました。他にも愛知県立刈谷北高校とスティーブン・ルイス校との姉妹校交流、ミササガパーク(刈谷市)とカリヤパーク(ミササガ市)の開設やカナダを題材にした子ども絵画展などがあります。
- 東海日本カナダ協会、在名古屋カナダ領事館など様々なセクターと協働することで都市交流の機会と質の向上が図られ、持続可能な交流へと発展しています。

評価のポイント

- ⇒ 33年間で延べ1,000人が双方に派遣された実績やOB・OGによる市民の会結成は市民レベルの活動が活発であることを表している。また、両都市の国際交流協会を中心として、国際交流活動を推進する組織運営が充実している。
- ⇒ 国際交流振興基金を創設して、財源を強固にして交流を継続していく仕組み等、活動の継続性、安定性が確保されており、地に足のついた活動が継続的に行われている。
- ⇒ 青少年交流が、派遣される限られた人数ではなく、姉妹校提携等、多くの生徒が参加できるようになっており、今後の発展が期待できる。また、教材を高校生自ら作成することの教育的効果は高い。



外務省の「日加修好80周年」公式記念事業に認定されたミササガ市民派遣事業



ミササガ市の有志からの東日本大震災に対する義援金



ミササガ市にオープンした「カリヤパーク」。周辺には「カリヤ・ドライブ」など「カリヤ」の名を冠した複数の施設



カナダをイメージした絵画を募集し、子ども絵画展を開催(在名古屋カナダ領事館による表彰)



刈谷北高校(刈谷市)とスティーブン・ルイス校(ミササガ市)が姉妹校提携



愛知万博以降、ミササガパークにて開催されるストリートホッケー交流会

【問い合わせ先】

刈谷市市民活動部市民協働課

住所：〒448-8504 愛知県刈谷市東陽町1丁目1番

電話：0566-95-0002 FAX：0566-27-9652

E-mail：kyodo@city.kariya.lg.jp

URL：https://www.city.kariya.lg.jp/

総務大臣賞

四日市市(三重県)

提携先: ロングビーチ
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)
提携年月日: 1963年10月7日



友好都市交流事業

地域の概要

四日市市



◇人口: 312,517人 (H27.5.1)
◇面積: 206.44 km²
◇概要: 三重県の北部に位置し山や海に面した、自然にも恵まれた温暖な地域です。1950年代にわが国初の石油化学コンビナートが立地し、四日市港を中心に産業都市として発展してきました。また、近年ではコンビナートの夜景クルーズや全国規模の音楽コンクールを実施する等、産業と文化の調したまちづくりを推進しています。

ロングビーチ市



◇人口: 465,000人
◇面積: 133.22 km²
◇概要: ロサンゼルス市の南西に位置し、米国で有数の美しさを誇る海岸線や砂浜が広がっており、豊かな観光資源と温暖な気候に恵まれていることから毎年多くの人々が訪れています。また、今日では、全米第2位のコンテナ扱い量を誇る港を有し主要企業がビジネスを展開する拠点になっています。

交流事業の概要

- 四日市市とロングビーチ市は1963年10月に姉妹都市提携を締結して以来、ロングビーチ市ヨッカイチ姉妹都市協会を窓口として教育、文化・スポーツ、医療、環境等の広範な分野において交流事業を行うとともに、5年ごとに市関係者や市民による周年事業の開催も行っています。
- 特にこの50年の間に、下記の4つの事業は、時代のニーズや両市の特色を活かした内容を盛り込み、毎年継続し実施することで市民間の相互理解と友情を深めています。
 1. 交換学生・教師の相互派遣事業 (1965年から)
 2. 英語指導員招請事業 (1986年から)
 3. 高校生による地球環境塾の開催 (2008年から)
 4. 市立四日市病院の医師等の派遣事業 (2002年から)
- 50周年を迎えた2013年には、公式代表団の相互派遣や記念式典・レセプションの開催、「地域社会づくり」シンポジウムの開催等を実施し友好交流の推進を図るとともに、両市長等が覚書を交わし、新たに地域社会づくりや産業、観光等の分野においても交流を進めることを確認しました。
- 昨年9月には、これからの地域社会づくりに向けた人材育成事業の充実を図るため、四日市市の自治会代表者等による訪問団が、ロングビーチ市で行われている「地域づくりリーダーシッププログラム」のノウハウを学ぶために同市を訪問する等、新たな交流も広がりつつあります。

評価のポイント

- ⇒ 半世紀に亘り継続している交流の幅を、環境分野に加え、教育分野、医療分野等へと広げている。交流実績を見ても、市民や地元企業と連携した環境保全関連の交流事業や市民病院の若手医師派遣による医療レベルの向上等によって、着実に成果をあげており、今後の地域の国際交流のモデルとなり得るものである。
- ⇒ 地球環境塾は長年、公害・環境問題に取り組んできた四日市市ならではの着眼であり、米国、中国、日本の3都市の青少年育成、グローバル人材育成に貢献している。
- ⇒ ロングビーチ市との交流は、「教育」「人材育成」の観点で取り組まれており、経済交流に重きを置く自治体が増えている中で、姉妹都市交流のあり方を再認識させるといふ点からも評価できる。



【交換学生・教師の相互派遣事業】カリフォルニア州立大学ロングビーチ校にある語学学校で各国の留学生たちと意見交換をする本市の高校生



【交換学生・教師の相互派遣事業】書道を体験するロングビーチ市から訪問した高校生



【英語指導員招請事業】中学校で英語の授業を行うロングビーチ市からの指導員



【地球環境塾】約1週間の環境研修の成果について発表する、ロングビーチ市、四日市市、天津市の高校生



【医療交流事業】ロングビーチ メモリアル メディカル センターで医療研修に参加する市立四日市病院の医師



【四日市市の自治会関係者等がロングビーチ市を訪問】地域コミュニティで植林を行う自治会代表者とロングビーチ市の関係者

【問い合わせ先】

四日市市政策推進部秘書課

住所：〒510-0085 三重県四日市市諏訪町 1-5

電話：059-354-8111 FAX：097-536-4044

E-mail: kokusai@city.oita.oita.jp

URL : hisyo@city.yokkaichi.mie.jp

審査委員会奨励賞

豊根村・サウジアラビア王国交流促進
委員会(愛知県)

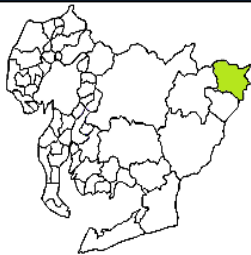
相手先団体名：駐日サウジアラビア
王国大使館(サウジアラビア王国)
交流開始年月日：2005年5月25日

奨励賞

友好都市交流事業

地域の概要

豊根村・サウジアラビア王国交流促進委員会
(豊根村)



◇人口：1,300人

◇面積：155.91km²

◇概要：愛知県・長野県・静岡県の
県境に位置し、愛知県最高峰の茶
臼山の麓に広がる自然豊かな景勝
の地です。茶臼山・離山・日本ヶ
塚山・八嶽山といった1,000m級の
山々を有し、春の新緑・夏のアウト
ドア・秋の紅葉・冬のスキーと
四季を通して楽しめるオールシー
ズンリゾートです。

駐日サウジアラビア王国大使館
(サウジアラビア王国)



◇人口：29,200,000人

◇面積：2,149,690km²

◇概要：中東・西アジアに位置し、
首都はリヤドです。世界一の原油
埋蔵量を持つ国であり、石油(原
油)を世界中に多く輸出していま
す。言語は公用語が古典アラビア
語で、宗教はイスラム教が国教で
す。

交流事業の概要

- 2005年愛・地球博(愛知万博)「一市町村一国フレンドシップ事業」で豊根村のフレンドシップ対象国がサウジアラビアに決定しました。以来、村民が交流促進委員会を組織し、サウジアラビアとの間で以下のような交流活動を行っています。
 1. 在日留学生を招待し、都会では味わえない自然体験プログラムを実施
 2. サウディアラビアン・フットサル国際親善カップへの出場
 3. 豊根中学校の在東京サウジアラビア大使館への訪問
 4. 在東京サウジアラビア大使館関係者を招聘、講演会等の開催
- 2011年末から2013年夏にかけて、在サウジアラビア日本国大使が3回にわたり豊根村を表敬訪問されました。遠藤前大使より「村の地道な取り組みが日本とサウジ両国の友好関係促進に寄与した」として大使館からの表彰状を頂きました。
- 豊根村とサウジアラビアとの関係が始まってから、10周年を迎えます。日本へのエネルギー供給において重要な位置付けとなっているサウジアラビアですが、人と人との交流はその規模に比べて大変少ないと言われていています。異なる民族性や文化など、交流が進むにつれて超えるべきハードルは増えますが、本交流が数少ない先進例として、息の長い付き合いとなることを願っています。

評価のポイント

- ⇒ サウジアラビア王国の国情を考えると、相互の自治体交流が難しいにも関わらず、愛知万博をきっかけとして、地道だが将来につながる活動をしっかりと続けている。
- ⇒ 過疎の進む山村地域の小規模自治体で、村落再生・地域活性化の切り札として国際交流が大きな力を発揮している先進事例であり、他の自治体にも模範となる。
- ⇒ 地域ぐるみでサウジアラビアの留学生を招き入れ、そのつながりを大事に育てようとする熱意を評価する。
- ⇒ 日本国内にいる相手国市民(留学生等)を直接的な交流相手とし、公的な諸機関の支援を活用することは、小さな村の国際交流の進め方として先進性がある。



愛知万博サウジアラビアデーでサウジのゲストと村の子どもたち(2005.9)



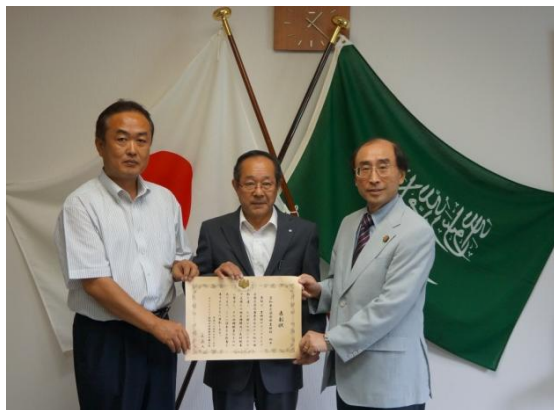
ウィンタープログラムでは大自然の中、サウジの留学生がスキーを初体験！



サウディアラビアン・フットサル国際親善カップ（調布市）に豊根村のフットサルチームが会場



豊根中学校の国内研修旅行で在東京サウジ大使館を訪問



在サウジ日本国大使館遠藤前大使から表彰状を受ける村長と交流委員長(2012.8)



小寺大使による豊根中学校講演(2013. 6)

【問い合わせ先】

豊根村・サウジアラビア王国交流促進委員会

住所：〒449-0403 愛知県北設楽郡豊根村下黒川蔵平 2

電話：0536-85-1033 FAX：0536-85-1720

E-mail: toyone@aichiskr.or.jp

URL : <http://www.vill.toyone.aichi.jp/toyone-saudi/index.htm>

